


JAバンク山形県における地域密着型 金融の取組状況について (平成24年度)



農林中央金庫山形支店

-
- JAバンク山形県（県内17JAと農林中央金庫山形支店）では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
 - 平成24年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

- 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援(JAバンク山形県の農業メインバンク機能強化への取組み) ……P4
- 2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 ……P10
- 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め, 担い手に適した資金供給手法の提供 ……P14
- 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 ……P17

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援（JAバンク山形県の農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク山形県は、地域における農業者との結びつきを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っております。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク山形県は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成25年3月末時点のJAバンク山形県の農業関係資金残高^(注1)は511億18百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高^(注2)は39億9百万円を取扱っています。

(注1) 農業関係の資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク山形県が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 (単位:百万円)

営農類型	平成25年3月末
穀作	15,578
野菜・園芸	3,038
果樹・樹園農業	2,529
工芸作物	33
養豚・肉牛・酪農	5,962
養鶏・鶏卵	42
養蚕	2
その他農業(注1)	23,134
その他農業関連団体	800
合計	51,118

(注1)「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位:百万円)

種 類	平成25年3月末
プロパー資金(注1)	36, 973
農業制度資金(注2)	14, 145
うち農業近代化資金	2, 622
うちその他制度資金(注3)	11, 523
合 計	51, 118

(注1)プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2)農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3)その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付残高】 (単位:百万円)

種類	平成25年3月末
日本政策金融公庫資金	3, 909
その他	0
合 計	3, 909

(注)JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付を取り扱っています。

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク山形県では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内17JAの本店には25人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。
- 農林中央金庫山形支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。
- また、平成23年度に創設された「JAバンク農業金融プランナー」の資格試験に取り組み、県内全JAにおいて、計122名が資格を取得しています。

(3) JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上にJA内事業関連携を強化しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク山形県は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っております。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク山形県では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っております。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位:件, 百万円)

	平成24年度 実行件数	平成24年度 実行金額	25年3月末残高
就農支援資金(転貸)	38	133	730

(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク山形県では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

(単位: 先)

債務者区分	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画の策定先 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先 c	事業計画策定率 =a/A	ランクアップ率 =b/A
正常先	127	3	/	127	2.4%	/
要注意先	178	10	54	116	12.2%	30.3%
破綻懸念先	141	40	29	101	28.4%	20.6%
実質破綻先	140	16	14	116	11.4%	10.0%
破綻先	7	2	0	4	28.6%	0.0%
計	593	71	97	464	12.0%	16.4%

注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成24年3月末時点でのものです。

(3) 講演会・セミナー等の開催

JAバンク山形県では、農林中央金庫山形支店の融資先のお取引先様や系統団体を招いた講演会と情報交換会を開催しています。

講演会名	参加対象者	参加団体数	主催者	講演内容
JAバンク山形県 農業経営セミナー (24年12月12 日)	県内担い手 農業者	出席者120 名	JAバンク山 形県	「逆境を切り拓く経営～壁を破る 発想法～」日本ゼネラルモー ターズ(株)代表取締役佐藤満氏 「県内農業情勢と産出額拡大に 向けた農業政策の展開」県農林 水産部農政企画課課長佐藤宏 昭氏

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク山形県では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

JAバンク山形県では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成24年度負債整理資金の貸出実績】

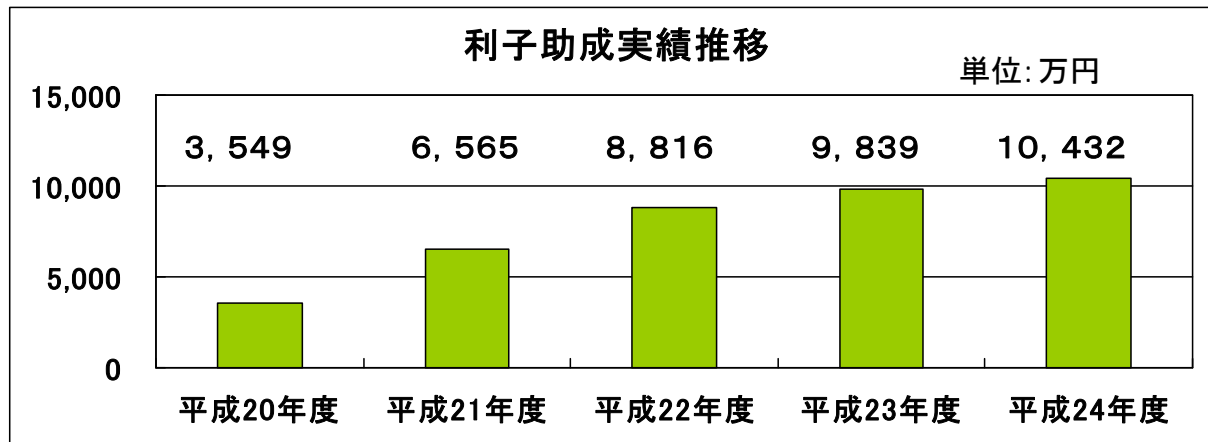
(単位:件,百万円)

資金名	平成24年度 実行件数	平成24年度 実行金額	25年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	163
畜産特別資金	0	0	784
その他	6	17	2,176
合計	6	17	3,123

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(2) 農業融資への利子助成

- JAバンク山形県が融資する農機ハウスローン, スーパーS資金, 農業近代化資金等の融資に対して, 農業振興等に貢献するための事業を展開するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い, 農業の担い手への支援を行っております。
- 平成24年度は, 県下17JAの農業資金について, 6,038件, 1億432万円の利子助成を実施しました。



4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク山形県では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

JAバンク山形県では、自然災害等による被害を受けた農業者を支援するため、災害対策窓口の設置、山形県の災害対策資金への上乗せ利子補給、独自災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応を行っております。

(単位: 件, 百万円)

取組内容	件数	貸付実行金額	内容
暴風・豪雪被害施設復旧等緊急支援資金への利子補給対応	38	133	JAが農家・組合員に対して融資した山形県の災害対策資金について、JA並びに農林中央金庫山形支店はじめとする県農協連合会が、実質借入利率0%の支援を行いました。

(2) JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク山形県は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の291小学校へ約1万5千セット配布され、学校の授業等において活用されています。



(注)このほか、JAバンク山形県などのJAグループ山形では、山形県の理解を深めてもらうための「いのちを育む山形県の農業」の配布を行っております。

また、県下JAでは、子どもを対象とした食農教育を中心とする教育実践活動にも取り組んでいます。

JA名	活動主体	活動名	内 容
山形市	JA	西小けやきっこ米作り学習田	米作り学習
やまがた	JA	JAやまがたわんぱくあぐりスクール	市内小学生による農業体験等スクールの開催
てんどう	JA	給食を通して食育サポート	新入児童を対象に、生産者・JA役職員と子供たちの給食の会食による交流
みちのく村山	青年部	食農教育(田植え・稲刈・収穫祭)	地区小学校3～6年生による水稻栽培、収穫作業実習
さくらんぼひがしね	JA	果樹王国ひがしね農業体験スクール	野菜の収穫体験と学習会
		地産地消子供料理教室	地元野菜・果物を使った料理教室
		小田島小学校少年クラブ活動	農業体験学習
		大富小学校百姓寺子屋活動	りんごの栽培体験学習
		みんなのよい食「ポスターコンクール」	ポスター・標語のコンクール
		果物皮むき指導	りんごとラフランスの皮むき指導と試食会

JA名	活動主体	活動名	内 容
		大富小学校相撲大会おにぎりづくり	相撲大会へのJA女性部員による地元産米のおにぎり提供と農業の学習
		食農教育 家の光児童向け雑誌「ちゃぐりん」寄贈	「ちゃぐりん」配布による給食の時間を利用した学習
新庄もがみ	JA	「ごはん・お米と私」作文コンクール	「ごはん・お米と私」をテーマとした作文・図画のコンクール
真室川	JA	食育活動 学校給食への食材の無償提供	町内小中学校への食材提供による給食と農家の方による町内農業についての学習
		地域と共に取り組む真室川北部小学校・米作り体験教室	「大豆・稲」の作付けによる農業体験と田んぼの生き物調査
		真室川子ども園“お米大好き・やさい大好き”農業体験	米・野菜作り体験
		真室川安楽城保育園“お米大好き・やさい大好き”農業体験	米・野菜作り体験
山形おきたま	JA	アグリスクール「ちゃぐりんキッズクラブ」	食農教育活動並びに農業体験教室
	青年部	JA食農教育活動	JA管内園児・小学生を対象とした食農教育活動, 農業体験教室

JA名	活動主体	活動名	内 容
鶴岡	JA	学校畑・稲作体験教室	学校畑や学校田での田植えから収穫までの体験教室
		グリーンツーリズム農業体験	中学生による農業体験, 農業施設見学
庄内たがわ	農政対策推進協議会	図画・作文コンクール	「ごはん・お米とわたし」をテーマとした作文・図画のコンクール
	青年部	管内小学校出前授業	授業の一環として籾摺りから脱穀までの食育活動
あまるめ	JA	稲作体験教室	小学生の親子を対象とした稲作作業(田植え・稲刈)とご飯の試食会
そでうら	青年部	お米学習教室	農作業体験(育苗学習, 田植体験, 収穫体験)